

3 集計結果の概要

※丸数字は順位

1 水道水の飲み方（複数回答）

1	そのまま飲んでいる	23.4%	④
2	冷蔵庫で冷やしてから飲んでいる	7.1%	
3	一度沸騰させて冷やして飲んでいる	15.6%	
4	緑茶、コーヒー、紅茶などにして飲んでいる	48.1%	②
5	浄水器などを通して飲んでいる	55.9%	①
6	ペットボトルなど市販の水を購入している	32.0%	③
7	その他（井戸水など）	1.5%	

2 飲み水としての満足度

1	満足している	7.6%	
2	どちらかといえば満足している	44.3%	『満足』
3	どちらかといえば不満である	35.0%	①
4	不満である	50.1%	『不満』
5	どちらともいえない	5.5%	②

現状の水道水を飲み水として満足しているかについて聞いたところ、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足」の計）が44.3%、『不満』（「どちらかといえば不満である」と「不満である」の計）が50.1%であった。

また、年代別では年代が若いほど、給水方式別では、直結式に比べて受水槽式の方が満足度が低くなっている。

「水道水の飲み方」（問1）と「飲み水としての水道水の満足度」（問2）の関連を調べてみると、水道水をそのまま飲んでいるのは、水道水が『不満』と答えたモニターが9.5%であるのに対し、『満足』と答えたモニターの42.0%が水道水をそのまま飲んでいる。

2-2 水道水について飲み水として不満に思う理由（複数回答）

（問2で『どちらかといえば不満である』、『不満である』と回答した199名対象）

1	おいしくないから	75.4%	①
2	水温が高く、生ぬるいから	24.1%	
3	安全性に不安があるから	48.2%	②
4	その他	10.1%	

3 水道水の信頼度について

1	安心である	11.8%	
2	まあまあ安心である	57.9%	『安心』
3	やや不安である	31.7%	①
4	不安である	40.8%	『不安』
5	どちらともいえない	9.1%	②

水道水の信頼度について聞いたところ、『安心』（以下、「安心である」「まあまあ安心である」の計）が57.9%で、『不安』（以下、「やや不安である」「不安である」の計）の40.8%とやや高い比率となった。年代別では年代が高いほど『安心』と回答した比率が高くなり、年代が若いほど、『不安』と回答した比率が低くなっている。性別では、女性では「安心である」が9.1%であるのに対して、男性では16.0%とやや高い比率となっている。

3-2 水道水の安全性に不安を感じる理由（複数回答）
 （問3で『やや不安である』、『不安である』と回答した162名対象）

1 水源（河川・湖沼、地下水など）が汚れているから	58.6%	②
2 色や濁りなどを感じることから	8.6%	
3 現在行っている浄水処理に不安があるから	16.0%	
4 水道管の管理に不安があるから	44.4%	③
5 受水槽の管理が不十分で心配だから（定期的な清掃をしていないなど）	21.6%	
6 水道水をつくる過程で、消毒剤などいろいろな薬品が使われていると思うから	59.9%	①
7 水道水は危険だと（週刊誌などで）言われているから	16.0%	
8 はっきりした理由はないが、漠然と不安を感じているから	25.9%	④
9 その他	8.0%	

飲み水としての水道水を不満に思う理由として、「安全性に不安があるから」と答えたモニターに不安な理由を聞いたところ、「水道水をつくる過程で、消毒剤などいろいろな薬品が使われていると思うから」が59.9%で最も多く、以下「水源が汚れているから」58.6%、「水道管の管理に不安があるから」44.4%、「はっきりした理由はないが、漠然と不安を感じているから」25.9%と続いている。

4 水道水のおいしさについて

1 おいしい	2.5%	
2 ややおいしい	22.7%	③
3 ややおいしくない	32.7%	①
4 おいしくない	25.7%	②
5 どちらともいえない	16.4%	

4-2 塩素のにおいを感じるか

1 感じる	11.6%	
2 少し感じる	32.7%	②
3 ほとんど感じない	49.6%	①
4 感じない	6.0%	

4-3 水道水をおいしくないと感じる理由
 （問4で『ややおいしくない』、『おいしくない』と回答した232名対象）

1 塩素臭いから	46.1%	①
2 かび臭いから	18.5%	
3 その他の異臭がするから	19.0%	
4 味（苦みなど）があるから	30.2%	③
5 水温が高く、生ぬるいから	44.8%	②
6 その他	10.8%	

水道水をおいしくないと感じる理由については、「塩素臭いから」が46.1%で最も多く、以下「水温が高く、生ぬるいから」が44.8%、「味（苦味まど）があるから」が30.2%で続いている。

5 塩素消毒の必要性の周知度

1 知っていた	26.7%	
2 だいたい知っていた	27.7%	②
3 知らなかった	45.6%	①

6 水道水の水質の異常

- | | |
|------------|-------|
| 1 感じたことがある | 53.1% |
| 2 感じたことがない | 46.9% |

6-2 水道水の水質がおかしいと感じた理由 (問6で『感じたことがある』と回答した211名対象)

- | | | |
|---------|-------|---|
| 1 におい | 58.3% | ① |
| 2 味 | 48.8% | ② |
| 3 色又は濁り | 38.4% | ③ |
| 4 その他 | 4.3% | |

7 受水槽以下装置の管理責任の周知度

- | | |
|----------|-------|
| 1 知っていた | 51.6% |
| 2 知らなかった | 48.4% |

7-2 受水槽内の清掃、水質検査などの周知度

- | | |
|----------|-------|
| 1 知っていた | 28.0% |
| 2 知らなかった | 72.0% |

受水槽内の清掃、水質検査等についての相談を保健所が行っていることについて知っていたかどうかについては、7割程度のモニターが「知らなかった」と回答している。性別では男性の方が、年代別では年代の高い方が「知っていた」割合が高くなっている。

8 「おいしい水づくり計画」の周知度について

- | | | |
|-----------------------|-------|---|
| 1 計画の名称・取組み内容ともに知っていた | 19.4% | |
| 2 計画の名称だけ知っていた | 57.9% | ② |
| 3 知らなかった | 42.1% | ① |

「おいしい水づくり計画」についてモニターになる以前から知っていたかを聞いたところ、約半数程度の方が、『知らなかった』と回答した。性別では女性の方が、給水方式別では受水槽式の方が、また、年代別では20歳代及び60歳代以上の方が他の年代より「計画の名称・取組み内容ともに知っていた」と回答した割合が高かった。

8-2 「おいしい水づくり計画」を知った媒体

(問8で『計画の名称・取組み内容ともに知っていた』、『計画の名称・取組み内容だけ知っていた』と回答した230名対象)

- | | | |
|--------------------|-------|---|
| 1 県水だより | 90.4% | ① |
| 2 水道局のホームページ | 33.0% | ② |
| 3 千葉県提供のTV・ラジオ番組 | 1.3% | |
| 4 ポスター | 2.6% | |
| 5 リーフレット | 1.3% | |
| 6 浄水場見学会等の水道局のイベント | 3.5% | |
| 7 その他(井戸水など) | 1.3% | |

8-3 「おいしい水づくり計画オフィシャルサイト」の周知度について

(問8で『計画の名称・取組み内容ともに知っていた』、『計画の名称・取組み内容だけ知っていた』と回答した230名対象)

1 ある	43.9%
2 ない	56.1%

9 オフィシャルサイトのコンテンツの関心度

1 ある	86.9%
2 ない	13.1%

9-2 オフィシャルサイトで興味を引いた情報

(問9で興味のある情報が『ある』と回答した345名対象)

1 おいしい水づくりに向けて	36.5%	③
2 水道水って安全・安心なの？	53.0%	①
3 水道水っておいしくないの？	34.2%	④
4 ポタリちゃんの大冒険～おいしい水づくり編～	31.6%	⑤
5 キャンペーン	18.8%	
6 水のなるほど豆知識	37.4%	②
7 水のQ&A	27.0%	
8 水のおいしいクイズ	15.1%	
9 ポタリちゃんの水道水アルミボトル缶	13.3%	

興味をひいた情報について聴いたところ、「水道水って安全・安心なの？」53.0%が最も多く、次いで「水のなるほど豆知識」が37.4%、「おいしい水づくりに向けて」が36.5%、「水道水っておいしくないの？」が34.2%であった。

9-3 オフィシャルサイトによる取組みの理解度

1 よくわかった	28.2%	②
2 まあまあわかった	68.3%	①
3 あまりよくわからなかった	3.5%	
4 全然わからなかった	0.0%	

『わかった』 96.5%
『わからなかった』 3.5%

「おいしい水づくり計画」オフィシャルサイトを閲覧して理解いただけたか聴いたところ、約9割の方が『わかった』と回答したことから、大半の方がオフィシャルサイトを閲覧することで、おいしい水づくり計画の取り組みを理解いただけたことがわかる。

9-4 オフィシャルサイトによるPR

1 積極的に行った方が良い	73.6%	①
2 まあ行った方が良い	24.2%	②
3 あまり行う必要はない	1.8%	
4 行う必要はない	0.0%	
5 どちらともいえない	0.5%	

『行った方がよい』 97.7%
『行わなくてよい』 1.8%

「おいしい水づくり計画」オフィシャルサイトを通じて、水道水の正しい認識等をPRすることについて聴いたところ、PRを「積極的に行った方が良い」が73.6%、『行った方がよい』では、97.7%と、ほぼ回答者全員がPRを行うべきと回答した。

10 おいしさに関する水質目標の周知度について

1 知っていた	9.1%
2 だいたい知っていた	27.5% ②
3 知らなかった	63.5% ①

11 おいしい水づくりに関して引き続き力を入れてほしいと思う取組み（1～3つまで回答）

1 全浄水場へオゾン・活性炭処理などの高度浄水処理導入を検討する	50.9% ②
2 産・学・官による水源に適した処理技術の共同研究を進める	15.1%
3 水源水質保全への協力する	40.1% ③
4 古い水道管の計画的取替える	52.1% ①
5 古い水道管等の定期洗浄を強化する	37.0% ④
6 貯水槽水道の適正な管理・点検を促進する （貯水槽水道地域巡回サービス実施）	22.2%
7 直結給水の普及促進に努める	3.7%
8 水質監視体制の強化や水質管理を充実する （自動水質監視装置増設、残留塩素濃度連続測定装置設置）	22.2%
9 更なる残留塩素濃度の低減化を進める（塩素の多点注入の検討等）	37.0% ④
10 その他	0.0%

おいしい水づくりに関して引き続き力を入れてほしいと思う取組みを聞いたところ、「古い水道管を計画的取替える」が52.1%、「全浄水場へオゾン・活性炭処理などの高度浄水処理導入を検討する」が50.9%と高い割合となった。次いで、「水源水質保全への協力する」が40.1%、以下、「古い水道管等の定期洗浄を強化する」・「更なる残留塩素濃度の低減化を進める」が37.0%で並んでいる。

12 水道水（水道局）に求めるもの（複数回答）

1 安全性	92.9% ①
2 おいしさ	43.6% ②
3 安定性（事故、災害時など）	36.3% ③
4 料金の安さ	19.9%
5 その他	0.8%